

新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策【第32弾】

令和4年8月29日

オミクロン株対応ワクチン接種やPCR検査、入院医療等に必要な新型コロナウイルス感染症関連経費を計上するとともに、前回補正予算に引き続き、地方創生臨時交付金を活用した原油価格・物価高騰対策等の予算を計上。

✓ 新型コロナウイルスワクチン接種経費 37.9億円

オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制の確保に要する経費を計上。

〔対象者〕 初回接種を完了した方

〔期間〕 令和4年10月より開始予定 ※対象者・期間については、国の決定により変更となる場合あり。

〔実施体制〕 (1) 個別接種(約400医療機関) (2) 集団接種(熊本城ホール、市総合体育館ほか)

✓ 新型コロナウイルス感染症対策経費 22.7億円

感染拡大を踏まえたPCR検査費・入院医療費の増額等に要する経費を計上。

・PCR・抗原検査費 6.3億円 ・入院医療費 4.7億円 ・高齢者施設等での集中検査費※ 7.5億円 ほか

※高齢者施設等に検査キットを配布し、定期的に抗原定性検査を実施。令和3年度3月補正予算にて計上した分の追加計上分。

原油価格・物価高騰対策

✓ 旅行商品割引事業 6億円

旅行・宿泊需要の下支えを行うため、本市への宿泊を伴う旅行商品の割引事業(LOOKUP Kumamoto キャンペーン)の実施に要する経費について追加計上。

✓ 公共交通利用促進事業 0.5億円

公共交通への転換による渋滞緩和を図るとともに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い利用者が減少している公共交通事業者の支援を行うため、「バス・電車無料の日」を実施する。

〔実施主体〕 熊本市(協力:バス・鉄軌道事業者)

〔実施時期〕 年度内計2回の実施を想定 ※実施時期等について交通事業者と調整中

外2事業

外4事業